

TOTTORI BANK Bankers 2022

地域の“架け橋”
でありつづける。

SPECIAL★INTERVIEW

[育休ママにインタビュー]

仕事も子育ても
楽しみたい

河田明日美

[短時間勤務制度活用ママにインタビュー]

子どもの声に
応えられる喜び

小谷裕美子

[2男の父・イクメンパパにインタビュー]

刺激を受ける、
子どもたちの好奇心

田中健一

SPECIAL FEATURES

[新人行員特集]

鳥取銀行って
どんな銀行？

[先輩×若手の本音トーク]

行動で示す先輩と、
刺激を与える後輩。

[行員の最新事情を数字とグラフでチェックしよう!]

データで見る鳥取銀行

[とりぎん行内をのぞき見!]

とりぎんグラム

[行員が厳選してご紹介します!]

鳥取県民おすすめ
写真映えスポット

銀行での仕事は幅広いですが、
鳥取銀行では例えばこんな仕事があります。

本部での業務 ※一部抜粋

- 法人コンサルティング** ICTコンサル、ビジネスマッチング、M&A、医療介護先支援、海外進出支援など、法人向けの専門的なサポートを行う仕事
- デジタル戦略** FinTech(フィンテック)などの先進的なデジタルテクノロジーを活用した、商品やサービスの企画立案を行う仕事
- 地方創生推進** 企業誘致や進出企業への支援、地方公共団体と連携した地域開発プロジェクトの推進、社会貢献活動の企画などを行う仕事
- 人材開発** 重要な経営資源である人材の能力を高めるため、新入行員から管理職までの育成プラン立案、各種研修の企画運営などを行う仕事

営業店での業務 ※一部抜粋

- 法人渉外** 取引先企業や新規開拓先に対する資金調達や運用のご提案、経営課題解決のためのコンサルティングなどを行う仕事
- 個人渉外** 個人のお客様のもとへ伺い、預金や投資信託、保険といった金融商品販売、ライフプランのご提案などを行う仕事
- 融資** 個人や法人のお客様からの借入相談や受付、稟議書類作成、融資実行、実行後の管理回収などを行う仕事
- 窓口** 来店されたお客様に対し、新規口座開設、入出金、振込、税金、相続、金融商品販売などの受付を行う仕事



地域の“架け橋” でありつづける。

Continue to a bridge between region.

SPECIAL FEATURES

- 003 [新入行員特集]
鳥取銀行ってどんな銀行?
総合職
北中康貴/西山らら
一般職
矢田明希/永田渚
- 005 [先輩×若手の本音トーク]
**行動で示す先輩と、
刺激を与える後輩。**
大西涼太/福田峻/山口塔子
- [それぞれの業務内容]
鳥取銀行の仕事を知る
- 007 **融資**
向上心を持ち、自己研鑽する日々/太田裕樹
- 個人渉外**
「お客様あって」の心で接する/山崎美織
- 008 **コンサルティング**
多様なお客様に接する楽しさ/藤原真史
- 009 **医療介護**
地域をつなぐパイプ役に/田中佑樹
- 010 **リテールサービス推進**
一方通行でなく、伝える努力を/福田結美
- エリアマネーアドバイザー**
お客様への気配りを忘れず/幡井美咲
- 011 **ビジネスマッチング**
ニーズをつなげ、地域に貢献できる喜び/坪倉宗平
- Uターン転職×創業起業支援**
「楽しそう」に自ら飛び込む/拜藤万理子
- 012 ●**行外派遣×まちづくり**
視点を広げ、地域に人や経済の流れを創出/田中周

SPECIAL★INTERVIEW

- 013 [育休ママにインタビュー]
**仕事も子育ても
楽しみたい**
河田明日美
[短時間勤務制度活用ママにインタビュー]
**子どもの声に
応えられる喜び**
小谷裕美子
- 014 [2男の父・イクメンパパにインタビュー]
**刺激を受ける、
子どもたちの好奇心**
田中健一
[管理職で働く]
居心地の良い職場をつくる
- 015 **楽しく自分を磨き、
垣根のない輪を**
森本倫男
**自分らしく働き、
お客様を豊かに**
手嶋留美子
- 002 **こんな仕事**
- 016 [行員の最新事情を数字とグラフでチェックしよう!]
データで見る鳥取銀行
- 017 [とりぎん行内をのぞき見!]
とりぎんグラム
- 018 [行員が厳選してご紹介します!]
**鳥取県民おすすめ
写真映えスポット**

[新人行員特集] 鳥取銀行って どんな銀行?

入行して一年。そんな新人行員たちに鳥取銀行に就職したきっかけ、また新人だからこそ感じている日々の様子などを語っていただきました。

学生時代に友人とイベントを企画した際に、鳥取銀行から補助金を頂いたんです。それがきっかけで鳥取銀行に興味を持ち、就職を決めました。

在籍している本店営業部は鳥取銀行の営業部の中で一番行員数が多い部署ですが、僕が困っている時に助けてくれる頼れる先輩もたくさんいて、とても雰囲気の良い職場なんです。

僕は今、個人融資と外国為替を担当しています。どちらの業務でも大切にしていることは、「お客様のご要望をしっかりとヒアリングすること」。これからもお客様のニーズに沿った商品を提案するために、お客様の声を第一に取り組んでいきたいです。



総合職
本店営業部
北中康貴
Koki Kitanaka



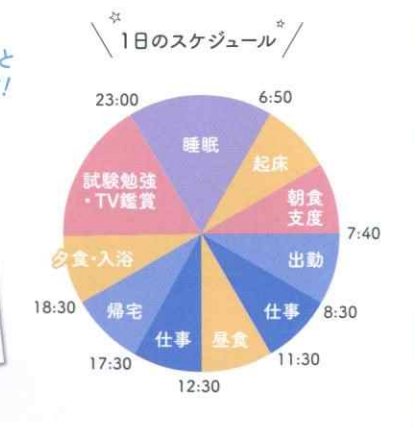
就職活動を始めた頃は都会に行きたくて関西方面で就職先を探していました。だけど、何の縁もゆかりも無い地域に就職して働いて...それで本当に良いのかな?と違和感を感じました。そこで、生まれ育った鳥取に貢献したいと思い、鳥取銀行に就職しました。

入行して1年が経ち、消費者ローンの受付から実行までを一人でできるようになりました。商品提案やクレジツトカード案内、その他セールスも併せてできるようになり、本当に成長したと感じています。お客様に感謝されることも増え、やりがいを感じます。

最近は住宅ローンの勉強をしています。まだ一人で受付から最終的な融資実行を行うのは難しいので、先輩に教えてもらっています。今後は住宅ローン知識をさらに深め、顧客意向に沿った提案を自分ですることができるようにしたいです。



総合職
倉吉中央支店
西山らら
Rara Nishiyama



(矢田) 元々インフラ業界に興味があり、中でも銀行は経済のインフラとして地域に貢献できると考えていました。さらに、地方銀行なら地元により貢献できるんじゃないかと...。そんな時、複数内定をいただいていた中で唯一鳥取銀行だけ、ゆっくり考えるよう猶予をいただきました。そのお気遣いがとても印象深く、鳥取銀行で働きたいと思い、就職を決めました。

入行して1年経ちますが、スムーズに仕事を覚えることができたのは先輩方のおかげです。指導役の先輩は勿論、そうではない先輩も優しく丁寧に教えて下さりました。鳥取銀行は良い意味で先輩との距離が近く、とても働きやすい良い環境だと感じています。

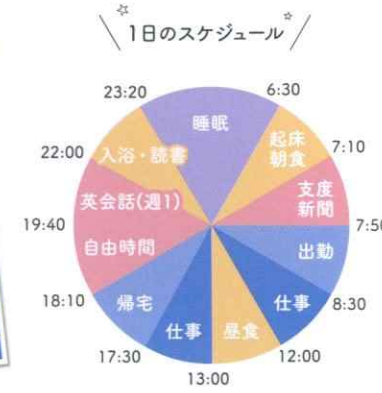


一般職
米子中央支店
永田 渚
Nagisa Nagata

一般職
米子中央支店
矢田明希
Aki Yada

(永田) 関西の大学へ進学したこともあり、就職先を関西にするか地元にするか悩みました。気になった企業の説明会に何度も足を運び、人事の方や先輩方のお話を伺いました。そして、最終的に「どこで働くかではなく「誰と」働くかを重視し、就職先を決定しました。

新入行員として働いたこの1年間は全て宝物です。入行した頃は不安でいっぱいでしたが、指導役の先輩を始め、周りの先輩方のご指導のおかげでここまで成長できました。お客様に「鳥取銀行に相談して良かった、ありがとう。」という言葉をいただいた時は私も鳥取銀行の行員として認められたような気がしてとても嬉しかったです。





左から山口塔子(2019年入行)、福田峻(2016年入行)、大西涼太(2014年入行)

「先輩×若手の本音トーク」 行動で示す先輩と、 刺激を与える後輩。

同じ支店で働く20代の男女3人に集まってもらい、鳥取銀行の仕事や職場環境など本音で話してもらいました。

まず、普段の仕事やお互いの印象を教えてください。

(山口)窓口でお客様対応をしています。大西さんはすごく頼りになる存在で、渉外係担当のお客様が来られた時にはすぐに対応してくれます。福田さんは、いつも面白いです(笑)。忘年会とかいつも率先して引ッ張ってくれます。(福田)忘年会は若手が一緒にあって、ダンスと漫才の出し物をしましたね。山口さんは大学までダンスをやっていたのでキレがすごかった。仕事は外回り。直属の先輩である大西さんは、なんでもすぐ答えてくれて、日頃から勉強されているのがわかります。(大西)福田君は若手らしく、いろんなお客様のところに「とりあえず行ってみる」というガッツがすごい。山口さ

んは新入行員とは思えない落ち着きで、ミスもあまりしない印象です。

(大西)金融志望で県外企業も受けたのですが、地元に戻りました。お客様のところに行ったら、「鳥取銀行です」と言うだけで話を聞いてもらえますし、地元での存在感を感じています。(福田)それは僕も感じています。銀行の名前でいろいろな人と出会えるのでありがたいですね。就活時の説明会から地元への密着感がすごいと思ったのですが、入ってみてその通りでした。(山口)鳥取に戻ろうかなと思った時に、地元からの信頼が厚い印象のある鳥取銀行を受けました。おばあちゃん世代から「良いところに入ったね」と褒められるので、嬉しくなります。

仕事で悩んだりすることもありませんか？

(福田)実力が足りないと日々痛感しますね。何事も勢いでしてしまうので、もつと勉強しないとお客様に良い答えを返せないと思います。大西さんは知識量がぜんぜん違う。

(大西)「わからない」と答えるのも嫌ですし、後輩に何か聞かれてもそこは先輩らしく教えられるようにしとかないといけないなと。そういう意味でも後輩の存在は常に刺激になりますね。

(山口)仕事はだんだんと慣れてきました。29人いる同期の中で、同じ支店にもう一人いるので、よく二人でカフェに行ったり、買い物に行ったりして遊びます。そこでお互いの悩みも相談し合っています。

(福田)学生にメッセージをお願いします。(大西)お客様から好かれるのも、元気がある人。元気が大事ですね。あとは友達だけじゃなくて、社会人の方とか、いろんな人と学生のうちに関わっておいいた方がいいかな。

(山口)私も明るさは重要だと思います。銀行も接客業なので、学生時代に靴屋でバイトをしていたことも役に立っている気がします。学生の時から積極的にいるいろいろな体験してほしいです。(福田)県外に進学しても、それでも地元で働きたいという人には、やりがいがある職場なので、ぜひ戻ってきて欲しいと思います。



2014年入行
倉吉中央支店 法人渉外担当
大西涼太
Ryota Onishi



2019年入行
倉吉中央支店 窓口担当
山口塔子
Toko Yamaguchi



2016年入行
倉吉中央支店 法人渉外担当
福田峻
Shun Fukuda

コンサルティング

企業のあらゆる経営課題解決のため、ICTなどを活用したソリューションをご提案する業務。



法人コンサルティング部

藤原真史

Shinji Fujihara

2013年入行

多様なお客様に

接する楽しさ

お客様の財務ばかりでなく、本業を見て支援できることを考えるコンサルティングの仕事をしています。銀行も新しい分野を開拓していこうということで、2018年からは大きく分けて3つのコンサルティング事業がスタート。①ソフトの業務改善を行うICT導入支援、②評価テーブルや従業員アンケートなどの人材関連の環境改善、③経営改善に伴ってサポートするアクションプランの3つがあり、その中でICT導入支援を担当しています。

クラウド会計ソフト「Freee」と提携していて、それを企業の効率化のために導入サポートしていくのが私の仕事です。これまで数社を担当しましたが、地方はまだまだIT化が進んでいないのが現状で、クラウドに対するアレルギーがある人もいます。勤怠管理や給与計算など便利なソフトの開発もどんどん進んでいます。ソフト販売会社の担当者が導入先の企業に直接来て教えてくれることはなかなかありません。ソフトは慣れるまでが大変。わからない時に「来てほしい」という声に応えられるのが私たちであり、だからこそ、そこに価値を感じてもらっている気がします。

クラウド会計ソフト「Freee」と提携して、それを企業の効率化のために導入サポートしていくのが私の仕事です。これまで数社を担当しましたが、地方はまだまだIT化が進んでいないのが現状で、クラウドに対するアレルギーがある人もいます。勤怠管理や給与計算など便利なソフトの開発もどんどん進んでいます。ソフト販売会社の担当者が導入先の企業に直接来て教えてくれることはなかなかありません。ソフトは慣れるまでが大変。わからない時に「来てほしい」という声に応えられるのが私たちであり、だからこそ、そこに価値を感じてもらっている気がします。

融資

個人や法人のお客様からの借入相談や受付、稟議書類作成、融資実行後の管理などの業務。



倉吉支店

太田裕樹

Yuki Ota

2017年入行

自分は心配性な面があり、お客様に何度も確認の電話をしてしまうのですが、逆に「ありがとう」と喜ばれることもあります。人と接する仕事ですので、最初は慣れないところもありましたが、こちらが不安になっていたらお客様も不安になると思い、「ハキハキする」ということから意識しました。仕事では、自分の判断に任される部分もあり、その責任感や覚悟が試されます。自分のできない部分に目を向けて向上心を持ちつつ、今できる最大限を出してお客様に伝えていきたいと思っています。意外と社会人になってからの方が勉強することも多いですが、同時に、一つできることが増え、それが形になる喜びもあります。できることだけやっていると成長はありません。「こうなりたい」というビジョンを持ち、まず挑戦してみることが大事だと思います。

それぞれの業務内容
鳥取銀行の
仕事を知る

向上心を持ち、
自己研鑽する日々



自分は心配性な面があり、お客様に何度も確認の電話をしてしまうのですが、逆に「ありがとう」と喜ばれることもあります。人と接する仕事ですので、最初は慣れないところもありましたが、こちらが不安になっていたらお客様も不安になると思い、「ハキハキする」ということから意識しました。仕事では、自分の判断に任される部分もあり、その責任感や覚悟が試されます。自分のできない部分に目を向けて向上心を持ちつつ、今できる最大限を出してお客様に伝えていきたいと思っています。意外と社会人になってからの方が勉強することも多いですが、同時に、一つできることが増え、それが形になる喜びもあります。できることだけやっていると成長はありません。「こうなりたい」というビジョンを持ち、まず挑戦してみることが大事だと思います。

個人渉外

個人のお客様のもとへ伺い、預金や投信信託、保険といった金融商品販売、ライフプランのご提案などの業務。



米子営業部

山崎美織

Miori Yamasaki

2014年入行

「お客様あって」の
心で接する



どんな仕事もそうだと思いますが、営業というのは特に、人と接し、そして信頼していただけるかどうかです。資産運用や保険などをご提案していますが、できるだけ私自身のことでも知ってもらえるようコミュニケーションを取るようにしています。そのためには、実はたわいもない話が大事だったり。お孫さんの話、趣味の話、畑仕事の話…。いろいろな話で打ち解け、あるお客様からはメダカをもらったこともあり、今も家で大事に飼っています。やっぱりどんな人かわからないと、自分がお客様の立場でも信じられないと思います。商品ありきではなく、あくまで「お客様あって」の商品。その人の背景や想いまでわかった上で、何が良い提案なのか。それを常に考えています。鳥取銀行を選んでくださる方は地元愛の強い方が多く、その信頼に応えることがやりがいになっています。

医療介護

地域の安心の要である「医療介護」の充実に向け、外部専門家とも連携しながら、幅広くサポートする業務。

地域をつなぐパイプ役に



法人コンサルティング部

田中佑樹

Yuki Tanaka

2013年入行

各営業店が持つ医療、介護、福祉事業者の法人営業をサポートする仕事で、私は介護をメインにやっています。今は変化するスピードが速い時代。特に高齢化は顕著で、国の制度もすぐに移り変わるので、事業者さんもついていくのがやっつと。その速度に銀行としても対応し、お客様に寄り添っていかれるかが鍵です。

介護施設の整備が進んだ一方、報酬改定など契約関係が厳しくなるなど、人手不足になる施設も少なくありません。



この仕事をして思うことは、銀行員は地域のパイプ役になれる、ということ。例えば、医療と介護の事業者をより密にし、横のつながりを生むことです。今の時代にもとめられているのはある資源を最大限に生かし、みんな力を合わせることです。そのために、私たちがやれることはもっと増えていくと思っています。

。建てたはいいけど、従業員を集められず、利用者を募れない。人が定着しないから売上がたないという悪循環に陥るケースもあります。ある統計によると、2045年には介護サービスを受けられない人が60万人にもなる試算があります。現場は目の前の利用者さんに応対することに精一杯で、効率的な仕組み作りまで手が回らなかったり。でも、そこは対人間のサービス。効率よくやれば良いというものでなく、バランスを取ったサービスにできるようにしなければいけません。

銀行員も、一歩踏み込んだコンサルティング能力が求められるようになりまし。これまでは融資のために事業計画を数字面で見ていましたが、今は融資の「そこから先」が私たちの役割です。当行でも、事業者さんとコンサルティング契約を結び始め、実際に現場に入って職員さんと接することが増えていて、これまで見えなかった課題がわかり、解決策を具体的に考えられるようになりました。

リテール サービス推進

個人のお客様へのサービス充実に向けた預金や年金などに関する営業施策立案、各種キャンペーンなどの企画を行う業務。

一方通行でなく、
伝える努力を



個人コンサルティング部

福田結美

Yumi Fukuta

2015年入行

私の仕事は、個人のお客様に対するキャンペーン企画や、各営業店が営業しやすい施策を考えることです。年金の支給に合わせ、公的年金を当行で受け取ってくださるお客様に対して、旅行券をプレゼントするような企画を考えることもあれば、チラシのデザインから抽選のやり方まで決めます。実は、就活時にはテレビ制作にも興味があったこともあり、「創ること」は好きだったので楽しくやっています。

「来てよかった」と直接お礼を言われる営業店時代に比べ、顔は見えにくくなったのですが、営業担当者から「こないだの企画よかったよ」と聞くと、お客様にもちゃんと伝わっているんだなあと実感します。やはり、やりたいという気持ちの方が一方通行ではだめ。誰かに伝わるような内容、表現、デザインになるように心がけています。相談しやすい上司や同僚に恵まれ、やりたいことができる仕事環境に感謝しています。



エリアマネー アドバイザー

資産運用などに関する専門的な知識を有するスペシャリストとして、営業店の担当者をサポートする業務。

お客様への
気配りを忘れず



個人コンサルティング部

幡井美咲

Misaki Hatai

2015年入行

「その先にお客様がいること」。銀行に勤めて5年が経ち、どんな仕事もそれを忘れてはいけないと思っています。今は、各営業店にいる個人渉外の担当者をサポートするエリアマネーアドバイザーとして働いていて、境港市の営業店2店舗を担当しています。

アドバイザーは直接お客様に接する機会が多くはありません。だからこそ、接する担当者を介して、どんなサービスを提供できるかが大事です。一番意識していることは「担当者を介してお客様への気配りが行き届いているか」です。経済状況が変化する中でお客様に細かな連絡ができていなかったり、つい顔色を伺ってしまうことだったり。私自身がたくさん失敗してきたので、そういった経験を基に担当者をフォローできたかと思っています。職場は働きやすい環境で、地元に戻ってよかったし、仕事でもっと知識レベルを上げてお客様に喜んでもらえるよう頑張ります。



株式会社シーセブンハヤブサ出向
(撮影当時)
田中 周
Shu Tanaka
2009年入行

行外派遣

× まちづくり

視点を広げ、地域に
人や経済の流れを創出

「こんな会社ができるんだが、行ってみないか？」。人事からそう聞かされた時点まで準Lab.のことをあまり知らなかったんです。そんな状態から準Lab.を運営するシーセブンハヤブサに出向しました。この施設は、旧準小学校をリノベーションし、シェアオフィスやコミュニティスペースなどが入った複合型施設です。経営者や個人事業主、カフェ利用の親子連れ、地域の人たち……。本当に様々な人が出入

りし、声が聞こえなくなった場所が人の集まる場所へ変わりました。地方創生が叫ばれて数年経ちますが、銀行から一歩出て、間近でまちづくりに関わることができるのは嬉しいですね。

出向が決まった時は「まさか自分が」と驚きましたし、それまではもちろんスリー姿で働くことが当たり前だったのが、ここに入居されている企業の方や利用者さんがラフな服装が多く、この場所の雰囲気に合わせてようになりました。どうしても堅いイメージがある「ザ・銀行員」というよりも、地域の方々と一緒に歩もうと意識しました。

仕事は、雑務から幅広くあります。運動会やマーケットなど様々なイベント

トを主催しているもので、その準備などを動かす仕事も多いですし、銀行の視点でお手伝いできることは、誘致した企業の融資相談や、「準アカデミー」といって経営者が学ぶスクールも行うなど、連携を密にしています。地方で事業者が増えない中、ここがインキュベーションの拠点になっていくよう、関わっていきたくと思っています。

戸惑いに始まり、怒涛の日々ですが、やはり銀行を外から見ることができたのもいい経験になりました。一から自分でやらないといけない環境でしたし、その分自分で考えるようになり、まずはやってみるクセがついたことはよかったです。

ビジネス マッチング

銀行のネットワークを活用し、お客様のビジネスニーズに対し最適なパートナーを紹介する業務。



法人コンサルティング部
坪倉宗平
Shuhei Tsubokura
2014年入行

企業間のニーズをつないだり、生産会社とバイヤーをつなぐ仕事をしていきます。以前1年間ほど、東京の食品商談会を主宰する会社で研修を積みました。学生時代に過ごした東京に、社会人になっていくことは学びの多い機会になりました。地方にいるだけではわからない首都圏のバイヤーのニーズを知り、ネットワークを築けたので、それをもとに事業者の期待以上の提案に繋がったり成果が出るのが嬉しいです。提案内容によっては、お金の問題だけじゃなく、そこにあるあらゆる経営課題の解決を行うことだってできます。地元企業に直接的に関われる仕事にやりがいを感じています。

私の場合は人と話すことが好きで、事務系や研究職ではなく営業が向いていました。学生の頃から選択肢を狭める必要もなく、意外と働いてみると思っているイメージと良い意味で違うこともあり、地元で貢献したい気持ちも幅広く形にできるのも銀行の仕事だと思っています。

ニーズをつなげ、
地元に貢献できる喜び



× Uターン転職 創業起業支援

米子商工会議所支店
(撮影当時)
拜藤万理子
Mariko Haito
2016年入行



「楽しそう」に自ら飛び込む

大学卒業後、そのまま東京のベンチャー企業で3年ほど働いたのですが、家庭の事情もあって地元鳥取に戻ること決めました。前職で經理をして金融機関の仕事に興味を持ち、最初はパート採用で入行でしたが、金融未経験者でもチャンスをもたらえたことはありがたかったですね。

個人渉外から始め、会社経営のことも勉強したいと思って、現在は法人営業を担当させてもらっています。中でも、創業起業支援やビジネスマッチングの仕事が多く、創業時は収支計画などまだ分からないことも多いので、手取り足取り、一緒になって考えていくスタンスでやっています。性分も手伝ってか、新規開拓も「断られて当たり前」と割り切れるようになるのと、どう話を聞いてもらえるかを楽しめるようになりました。難しいイメージもありましたが、楽しそうなお仕事に自分からチャレンジできる仕事です。



【育休ママにインタビュー】

人事部付(撮影当時) 河田明日美

仕事も子育ても楽しみたい

これまでは窓口業務をしてきましたが、入行5年目は育休で仕事を離れることに。娘と過ごした時間は、文字通り「あっ」という間に一日一日が過ぎました。ご飯を作ったのに気づいたらまたご飯の時間?と思うくらいの感覚です(笑)。慌ただしいう日ですが、娘が笑うようになってからは私に反応してくれたり、だんだんとできることが増えてくると成長が嬉しくなりますね。

わかってはいたつもりでも、子どもって本当に興味のままに行動するんです。いろいろなものを出して遊んで、すぐ部屋が散らかるんですが、そこですぐに注意するのはなく、後で片付けるようにしています。意識しているのは「子どもの好奇心を止めないこと」。仕事との両立も頑張り、楽しみながら、子どもだけでなく親の自分たちも成長したいと思っています。



▲1歳になったばかりの長女・唯都(いと)ちゃんと河田さん。



【短時間勤務制度活用ママにインタビュー】

鳥取支店 小谷裕美子

子どもの声に応えられる喜び

「今日も一番に迎えに来てよ」。2カ月前に短時間勤務に切り替えてから、保育園に通う息子が毎朝のようにそう言います。これまでは一番最後の方の迎えで、時々目を潤ませていたこともありました。寂しい思いをさせていた分、子どもたちが一番喜んでくれると思います。仕事も楽しく、融資担当としてフルタイムで働いていましたが、やはり家に帰ってから寝かしつけるまで毎日バタバタで…。平日は子どもたちともしっかり触れ

合う時間がなかったのが正直なところなんです。今は家族の時間も取れて生活が変わりました。明るいうちに子どもを迎えに行き、天気が良かったら公園に寄ったり、前は読んであげる時間なんてなかった絵本も読んであげられたり。子どもの声に応えてあげられるのが嬉しいです。まだ子どもに手が届かないので、集中して仕事をし、家庭生活も充実できる点で、短時間勤務制度を使って良かったと思っています。



▲短時間制度を活用する小谷さんの1日のスケジュール。



▲お客様をご案内する小谷さん。



「2男の父・イクメンパパにインタビュー」

法人コンサルティング部 田中健一

刺激を受ける、子どもたちの好奇心

10歳と6歳になる息子が二人いるんですが、3年前まで妻が美容師をしていて土日のどちらかは仕事に出たので、必然的に子守りが僕の役目でした。共働きながら家のことも手伝うのが当然ですし、やはり転勤がある仕事なので一緒に住める時間は大切にしたいので。最初は実家にも帰ったりし



◀休日に料理をして楽しむ田中さんとお子さんたち、取材の日は餃子を手作り。



ていたんですが、だんだんと自宅で見ようになりまし。息子たちと過ごす時間が増えて、それをどう過ごしていくか自分なりに考え始めると、一緒に楽しめることが増えましたね。

まず、全く包丁も持ったことがなかったところから、クッキングサイトを見たりして料理もやり始めたんです。そしたら下の子が料理をするのがめっちゃくちゃ好きになって、今や朝ごはんのスクランブルエッグも一人で作ってくれたり、お好み焼

きや餃子と一緒に作ることもよくあります。お兄ちゃんも「食べる専門」と言いながら手伝ってくれることもあって、誰の餃子がきれいな形かを競いながら作るんですが、子どもたちはだいたいで途中でふざけてシューマイとかいろんな形にし始めます。こちらと思いつきながら、それもまた楽しくて。

下の子は外でいろんな子と遊ぶ約束をするんですけど、お兄ちゃんは割とインドア派。アニメ映画の影響で「ギターをやってみよう」と言うので、「よし、やってみよう」と買ったんです。それなら妻と私もハマって、3人でどのコードができたとか勝負したりしています。

男3人で過ごすとうるさいし、けんかもあるし、楽しいばかりでもないんです(笑)。でも、子どもって楽しいことを見つけた天才というか。しょうもないことをこんなに楽しくやれるんだ、とその好奇心にこっちは刺激をもらうことも多いです。私もプライベートも仕事も、なんでもやってみようかなと前向きになりましたね。

役職内訳

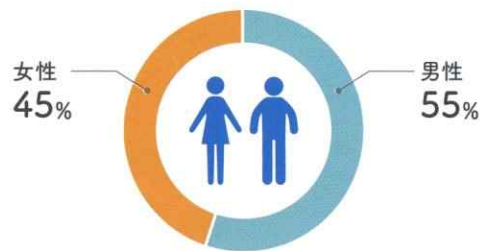
30代後半の若い支店長もいます！

行員 51%

監督職 26%
(支店長代理、副調査役等)

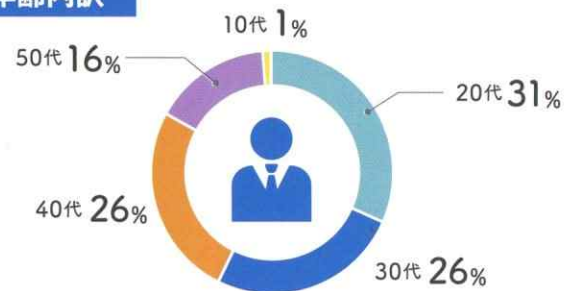
管理職 26%
(支店長、調査役、部長等)

男女内訳



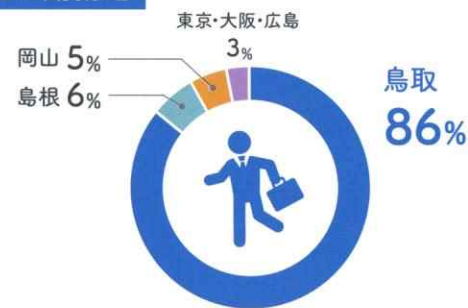
男性が若干多いですが、男女ともに多方面で活躍しています！

年齢内訳



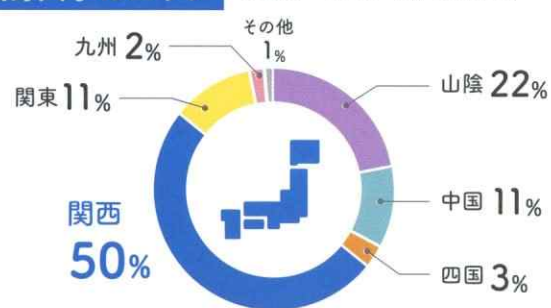
長く働ける環境と、どんな時も助けてくれる頼もしい先輩がたくさんいます！

現在の勤務地



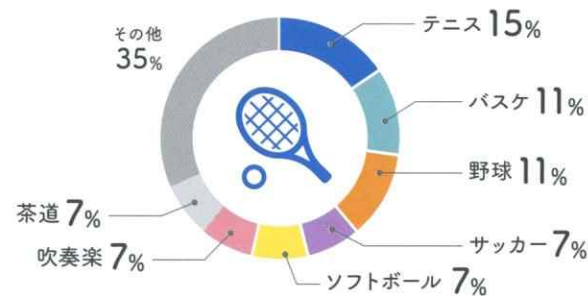
鳥取県内がメインですが、都市部で働くことも可能です！

出身大学のエリア (2016～2020年新卒入行者)



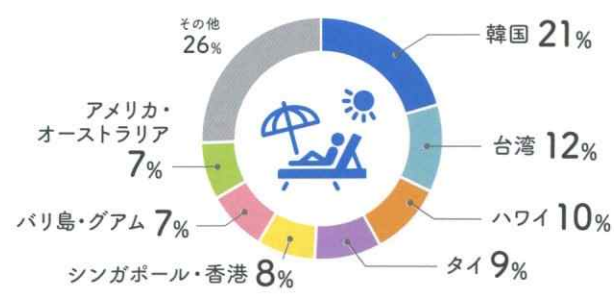
最近では、関西や関東など都市部からの1ターンもみられます！

高校時代の部活動 (2020年新卒入行者)



社会人になっても本格的に競技を続けている行員もいます！

長期休暇で訪れた海外旅先 (2018～2019年度)



連続9日間の休暇を利用し、同期同士で旅する若手行員もいます！

【管理職で働く】
居心地の良い職場をつくる



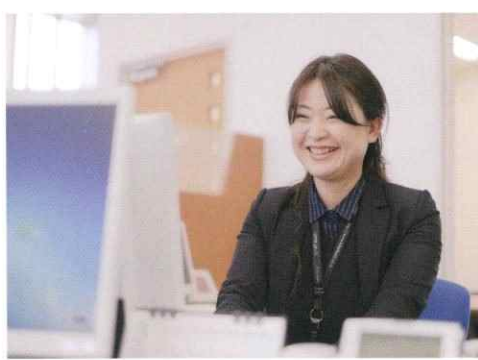
法人コンサルティング部 部長
森本倫男
 Michio Morimoto
 1996年入行

誘われて入り、気づけば鳥取銀行ランニングクラブの2代目の代表に。新入行員から50代まで約15人が集まり、年数回の駅伝大会やマラソン大会に参加し、2年前からは皆生トライアスロン大会にも挑戦しています。「さん」「君」で呼び合い、年齢や肩書きを抜きにしたつながりを大事にしている、やはり職場だけでは築けない絆があります。後輩たちによく言うのが「常に楽しむ」ということ。それは決して楽しむことじゃない。私は毎朝10kmを走っています。自分が前向きに臨めば練習でも仕事でも楽しくなるんですね。それを「走れ」「やれ」と言ってもダメで、一緒になって率先して見せていきたいです。仕事でも「金を売るな、自分を売れ」と言うんですが、「人と人のつながり」はいつの時代も変わりませんし、それには結局のところ人間力なんです。そういう自分磨きを楽しめるよう、クラブ活動も、仕事も、みんなまで頑張っていけたら最高ですね。

楽しく自分を磨き、
垣根のない輪を



自分らしく働き、
お客様を豊かに



米子営業部 課長
手嶋留美子
 Rumiko Teshima
 1992年入行

23歳くらいで結婚して銀行を辞めるんだらうなと思っていたのが、20代後半で投資信託を扱うようになり、仕事にのめりこみました。預金にはないリスクのある商品に、最初はお客も戸惑いがあったんですが、自分が勉強してみると「これは良いものだ、お客様にちゃんと伝えたい」と思うようになりました。常に思っているのは「お客様が豊かになる」こと。もともと話すのが好きで、おせっかい好きな性格なので、「投資信託の話をする時が楽しそう」と言われます。女性には結婚や出産で環境が変わることもあり、役職に就くことを考えましたが、私は育休もちゃんと取りました。女性も自分が好きな働き方を選べると思っています。私は自分が良いと思うもので、お客様の役に立って、幸せになってもらえたらそれで嬉しい。地元で暮らしながら、子育てもしながら、そうやって働けるのが楽しいですね。

行員が厳選してご紹介します!

鳥取県民おすすめ写真映えスポット

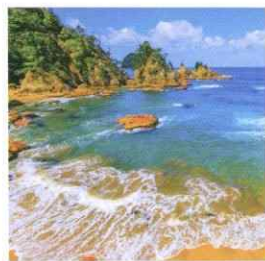
鳥取県といえば、鳥取砂丘を思い出す方は多いのではないのでしょうか?
そこで砂丘だけじゃない! 名所からおしゃれな最新スポットを生まれも育ちも鳥取! 地元大好き行員がご紹介します!



ユニークなビジュアルが若者に大人気!

妖菓 目玉おやじ

実は老舗和菓子屋さんの高級和菓子で、境港水木しげるロードの店頭でしか買えないレアスイーツ! 職人さんが1つひとつ手作りで製造しているため、数に限りがあり、土日などの観光客が多いときは早めに売り切れてしまうことも... 購入した際は食べる前に写真に残しておきましょう!



透明度が高い海で、大自然を満喫! 浦富海岸

日本海に面する鳥取県若美町の浦富海岸は、本州トップクラスの透明度の高さを誇ります。なんと最高透明度は沖縄の海にも匹敵する水深 25m! 写真映えはもちろん、カヤックやマリナックティビティなども体験でき、非日常を味わえること間違いなしです。



世界初、砂像を専門にした美術館 砂の美術館

鳥取砂丘の「砂」を素材にした彫刻作品を展示する美術館です。世界各国から砂像彫刻家を招き、世界最高レベルの砂像を展示しています。作品の精巧さや迫力はもちろんのこと、毎年変わるテーマごとに限られた期間しか存在できない砂像のパワーを目で見て感じ、写真に残しましょう。



Photogenic Tour in Tottori



潤いとやすらぎを与えてくれるスポット 天の真名井

鳥取県米子市淀江にある「天の真名井(あめのまない)」は環境庁が選んだ名水百選にも選ばれました。清流と緑豊かな風景が広がり、まるでトトロの森に迷い込んだように感じられます。都会ではなかなか出会えない非日常の世界に迷い込んだような癒しの体験をしてみませんか?



白壁のコントラストが美しい! 白壁土蔵群

鳥取県倉吉市にあるレトロ街並みが有名な白壁土蔵群。江戸時代には陣屋町として栄え、現在は国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。町家や土蔵に店舗などが入り街歩きや食べ歩き、体験などを楽しめるスポットになっています。小京都のような街並みが楽しめるため、女子旅におすすめです。



駅なのにピンク!? 全国でも珍しい駅 智頭急行智頭線 恋山形駅

山に囲まれたどかな地域、智頭町にある恋山形駅。駅全体がピンクでハートがたくさん。駅のホームにはセルフタイマーで撮影できるフォトスタンドも設置してあります。また、ハートの絵馬やピンクのポストがあり、絵馬に願い事を書いたり、ポストに手紙を投函するといったこともあるかも!?



#日替わりランチ
#本店食堂
#ある日のメニュー
#好きなほうを
#500円



#青い鳥コンサート
#協賛
#鳥取駅前パードハット
#鳥取駅前風紋広場
#行員による出し物



#本店食堂
#本店最上階
#見晴らしの良いカウンター席
#数年前にリニューアル
#憩いのひととき



#育休者ミーティング
#復職支援
#先輩ママからのアドバイス
#子どもの健康管理
#素敵な笑顔

とりぎん行内をのぞき見!

普段は入れない行内の様子や行員の過ごし方をご紹介します!



#女性行員制服
#春夏用
#2020年5月リニューアル
#オーバーブラウス
#フレアスカート
#通気性良く快適な着心地
#スカートの花は梨の花と
#銀行ロゴマークをモチーフ



#eスポーツ大会&懇親会
#青年部イベント
#20代若手行員の交流
#チーム戦でマリオカート



#鳥取しゃんしゃん祭
#世界最大の傘踊り
#ギネス記録
#とりぎん連
#鮮やかブルーの浴衣
#地域貢献



#米子がいな祭
#とりぎん万灯隊
#チームワーク賞
#熟練の技
#肩でも腰でも頭でも



#妖怪屋敷風ATM
#鳥取県境港市
#水木しげるロード
#世界に一つだけのオリジナル
#妖怪に暗証番号を聞かれるかも?



#とりぎんファミリーフェスタ
#創立70周年記念イベント
#布勢総合運動公園陸上競技場
#チーム対抗リレー
#激走



#平井耕司頭取
#2016年6月就任
#鳥取東高校卒
#広島大学法学部卒
#好きな言葉「継続は力なり」

地域の“架け橋” でありつづける。

僕たち銀行員は地域の“架け橋”にもなれる。

例えば医療と介護の事業者をより密にし、

横のつながりを生むこともできる。

今の時代にもとめられているのは

限りある資源を最大限に生かし、

地域みんなで力を合わせること。

そのために、僕たち銀行員が

できることはもっと増えていく。

だから僕は、

地域の“架け橋”

でありつづける。

Bankers 2022



TOTTORI
BANK



青い鳥の銀行です。

鳥取銀行